

組織部速報

2023年3月1日
No. 44

2023 JR 総連春闘 第2回交渉(要求の根拠)を行なう!

中央本部は本日、第2回交渉を行ない、要求の根拠について主張しました。

- 物価上昇に加え、電気代やガス代など公共料金の値上げによって実質賃金は目減りしており、組合員は厳しい生活を強いられている。社員一人一人の生活を保障するのは会社の責務である!
- 職場の組合員は新型コロナウイルスやインフルエンザの感染対策を取りながら、指定公共機関としての責任を果たしてきた。今後コロナが5類感染症となれば感染リスクが懸念され、さらなる苦労が予想される。
- 職場では低賃金を理由とした若年退職、将来に不安を感じた中堅社員の退職も発生している。離職防止のためにもベースアップは必要である。
- 社員の働き度は上がっており、収入拡大にむけた新たな施策にも協力している。企業の発展や将来にむけた人材への投資をすべきである。
- 組合員はやるべき事をやってきた。計画未達は経営の問題であり、会社の責任である。その責任を組合員に転嫁することがあってはならない!
- 経営計画を実行する組合員のモチベーションアップと、この間の苦労が報われる誠意ある回答を求める!

《闘争ゾーン》 第2回交渉(要求の根拠)～第3回交渉(会社の考え方)
【山場の取り組みにむけた意志統一】

☆現場長要請行動・全国統一職場集会への結集をはかろう!

【要請FAX行動準備】

☆組合員と交渉状況を共有し、本社要請FAXの作成を進めよう!

次回、第3回交渉は3月10日(金)です。